事業所名 グループホーム コスモス
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月 3日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 介護老人福祉施設12年、ホームヘルパー3級

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・ 様々な企業や商業施設が立ち並び、岡山西バイパスに程近い、幹線道路から一歩中に入った住宅地の中にホームはある。近くには公園もあり、利便性があり、生活しやすい環境の中で入居者は暮らしている。
- ・ ホームは、介護保険制度の発足以前の設立で、認知症対応のユニットケアの先駆けのモデルケースとして始まり、常に入居者の立場に立った介護を提供し続けている。
- ・ 医療機関との万全な協力体制のもと、入居者の健康・医療面での安全・安心な生活を支えている。
- ・ 入居者のペースを尊重し、入居者が自由でゆったりと暮らせるよう支援している。
- ・ 外出の機会が多くあり、生活の活性化を図り、本人の楽しみや喜び、気分転換やストレスの発散、五感刺激を得られるチャンスとして、一人ひとりが外出を楽しめるように支援している。
- ・ 職員は業務を固定せず、その時々の状態に合わせてお互いが補い合いながら自主的に行動しており、チームワークの良い支援を提供している。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・ 改善を要する点はない。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の今までの生活を大切に、自宅で暮らしていたような当たり前の生活が継続できるように支援している。 ・ 自分が望んでいることを決めるのは自分自身であり、本人が決める力やその人らしい希望を引き出せるよう、入居者の自己決定を尊重した支援を心がけている。 ・ 入居者が今持っている力を活用し、日々の生活の中で出来ることが増えていくよう、見守ったり一緒に居る場面や環境作りにも努めている。 ・ 地域との交流を促進し、入居者が社会参加できる支援をめざしている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来るだけ自宅に近い環境で過ごしてもらえるよう、居室には使い慣れた物や馴染みの物を持ち込み、ストレスなく、くつろいで過ごせるよう環境を整えている。 ・ 入居者の出来ることやしたいことを尊重し、日常生活の中で気持ち良く、自発的にやってもらえるような言葉かけや働きかけを行っている。 ・ 入居者自身で決めたり、一人ひとりが希望を表したりすることを大切に、外出や食事等入居者の希望を出来る限り叶えられるように支援している。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の趣味や今までの生活状況を細かくアセスメントし、入居者の育った地域の言葉使いを取り入れるなど、不安やストレスなく、居心地よくホームで過ごせるように配慮している。 ・ 入居者が一人で過ごす時間を大切にしており、入居者が居室にいる時は、居室のドアを開け、プライバシーを大切に安心して過ごせるように配慮している。また、夜間、居室の中より施錠をする入居者には、夜間巡視時の開錠の許可を得ている。 ・ 重要な書類やファイルは、事務所で保管して管理している。面会簿は量が多い等、個人情報の取り扱いには十分に留意している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「入居者の声」をどれだけ日頃の活動へ取り入れ、入居者の笑顔を導き出すかを常に考えており、一日一日を大切にされた生活の場の提供に努めている。 ・ 職員は、常に向上意識を持ち、支援の基本となる100項目を掲げた「やっています100」をマニュアルとして、日頃より自己研鑽に努めている。 ・ 問題が発生した時には、職員全員で検討し、すぐに対策を立てる等、再発防止に向けた対応策をとっている。 		